



# 資料提供



平成28年5月13日  
株式会社 中電工

## 「J E C A F A I R 2 0 1 6 ～第64回電設工業展～」への出展について

当社は、電気設備に関する機器・資材・工具と施工技術に関する日本最大級の総合展示会「J E C A F A I R 2 0 1 6 ～第64回電設工業展～」に出展します。

当社ブースでは、デジタルサイネージを活用するとともに、製品の展示・紹介を行うことで、当社の開発力・技術力をご紹介します。

なお、同展示会の特別催事として開催される「第55回製品コンクール」に、当社が開発しましたコンセント極性試験器（別紙参照）をエントリーしましたので、併せてお知らせします。

### 記

1. 開催日時 平成28年5月25日（水）10:30～17:00【初日】  
平成28年5月26日（木）10:00～17:00  
平成28年5月27日（金）10:00～16:30【最終日】
2. 場 所 インテックス大阪 3・4・5号館（当社ブース：3号館）  
大阪市住之江区南港北1-5-102
3. 当社の出展内容
  - ①コンセント極性試験器【製品コンクール出展】
  - ②高齢者見守りシステム
  - ③3D点群データのBIM活用
  - ④バーチャルリアリティ危険体験システム（墜落・アーク）
  - ⑤指定範囲監視システム「エリアセーブⅢ」
  - ⑥接地短絡判別器
  - ⑦小型相回転チェッカー
  - ⑧リニューアル関係
  - ⑨安全実習棟の紹介



4. 添付書類 コンセント極性試験器の概要

以上

## コンセント極性試験器の概要

本装置は、AC100Vのコンセント（2極・3極）の誤結線、断線等を確認する試験器です。

従来のコンセント試験器のほとんどは商用交流電源が必要で電源線の断線判定ができませんでした。

今回、開発したコンセント極性試験器は、判定電源として単三電池を内蔵した送信器と極性判定を行う受信器から成り、商用電源を必要としません。また、誤結線はもちろんのこと、電源線が断線時でも判定可能とした製品です。

本製品はコンセント結線の判定を表示ランプで行い、同時に誤結線や断線時はブザーの発報で知らせることで、確実に効率の良い確認作業ができます。

本製品の電源に充電式単三電池を採用すれば、電池の再利用化が出来、省エネ化を図ると共に電源が低電圧なことから感電の危険性が低く安全性にも優れています。

また、本製品を通電中(100V)のコンセントに使用した場合でも送受信器共に保護回路が働く構造となっています。

